

防 除 情 報

長崎県病害虫防除所長

平成29年度病害虫発生予察防除情報第18号

たまねぎのべと病の防除対策について

3月に入り、本病の発生に好適な気象条件の日が認められ、各産地で越冬罹病株が確認されています。胞子形成している越冬罹病株も多く見られており、今後、二次伝染の増加が予想されますので、下記の点に留意して防除指導をお願いします。

記

1. 発生状況等

- (1) 3月前期の巡回調査(15筆)の結果、発病株率0.01%(平年0.1%)、発生圃場率13.3%(同10.8%)であった。
- (2) 中晩生品種を主体とした各産地においても発生が増加している(振興局定点調査データによる)。
- (3) 気象予報(福岡管区气象台、平成30年3月15日発表)によると、向こう1か月の気温は平年より高い見込みとなっており、本病の発生に好適である。

2. 防除対策

- (1) 圃場の見回りをこまめに行い、越冬罹病株の抜き取りを徹底する。なお、抜取った株は圃場外に持ち出して適切に処分する。
- (2) 二次伝染の拡大を防ぐため、薬剤による防除を徹底する。特に、3月中旬以降は、べと病の重要な防除時期となるため、散布を1週間から10日間隔で行う。ただし連続した降雨が予測される場合はその前に防除を行う。
- (3) 湿度の上昇により本病の発病が助長されるため、圃場の排水対策を徹底し、圃場内に水が停滞しないよう努める。



図 越冬罹病株(左)に形成された分生胞子(右)

- 長崎県病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。
「長崎県病害虫防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>
- この情報に関するお問い合わせ
長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027

